

だったので手順がわからず、途中から写真撮影に専念 していました。 お手伝いのつもりでしたが、初めて体験する作業 月 、四日のオコヤタテに参加させていただきまし

ことと、 、が、多くはドンド焼きの終わりころに転がして燃や オコヤは市内はもとより県内各地で造られていま 上条地区のオコヤの特徴は、柱を立てて本体を造る 「隠居部屋」を設けることと思われます。

0)

オ

で

上条地区のオコピ

的

存地

区 0



4.オコヤの本体と同時並行で、注連縄や屋根の棟 飾りなどを作ります



きまし

催

動きが加速

建

月六日

伝 

建

1.作業前の道祖神。2段の基壇を組み、その上に 3つの丸石神を安置します。



5.屋根を作ります。材料はすべて竹で、垂木を 12 本固定していきます。



2.基壇に土台をのせ柱を立て棟を上げます。その後の 作業で前に倒れないよう、後ろに控え柱を引きます。



正の

日に公告総

作成

た保存計

画

日には県 が始まり Щ 詂 

甲州

峡東都市 十四日から

T)

都市計画審議

に諮ら

伝統的建造物 都市計画決定

-段落したところで、注連縄を飾ります。



3.千木風の丸太を差します。



する必要があります。 していますので、転がして燃やすことができず、解: してしまいます。上条地区では、土台や柱を毎年使用

作業工程をご覧になったことがないかも知れません いましたが、 コヤタテは男性だけで行う作業なので、女性の方は ヤに別棟を設ける例はいくつかあるそうです。 隠居部屋については、 「疱瘡神」 写真でご紹介します。 隠居部屋と呼ぶかどうかは別として、 を祀っているといわれています。 私は 「類例はない」と思 2 説 オ



16.オコヤが大体になったところで、隠居部屋が作られます。作り方はオコヤとほぼ同じです。



12.屋根を載せます。オコヤの前に立てた「トリイ」 で屋根を支えます。



7.ヒノキの葉を下向きに挿してオコヤらしく整えてい きます。



17.屋根の軒先の刈り込みをし、オコヤの中に御幣を納めれば完成です。



13.屋根の長い垂木は、棟の部分で切込みを入れて折り曲げ、切妻屋根とします。



8.正面と左右の3方に、竹で斜格子の窓(壁)を入れていきます。



18.完成です(1月5日撮影)。



14.折り曲げられた垂木は裏側で軒となります。



9.一方、道路ではわらの細工を続けています。写 真はオコヤの棟を作っているところ。



15.棟が上げられ、屋根はヒノキの葉で、千木風 の丸太と棟はスギの葉で飾られます。



10.格子ができたところで、今度はスギの葉をどん どん挿していきます。スギの玉が付いている葉が よいそうです。



11.屋根の先端部に、わらで作った軒付けを取り付けます。今年は5段に重ねました。